

臨床研究へのご協力をお願い

研究課題名 消化管穿孔及び瘻孔症例に対するポリグリコール酸（PGA）シートと フィブリン接着剤の有効性—多施設連合的研究

ポリグリコール酸（PGA）シートは、内視鏡治療後の穿孔や後出血に対する予防効果が報告されています。一方、術中及び遅発穿孔、瘻孔などが発生したあとの閉鎖に使用した症例報告は複数あるが、多数例でのまとまった治療成績は報告されていません。今回、消化管穿孔、及び瘻孔症例に対するPGAとフィブリン接着剤の有用性を明らかにすることを目的として研究します。

【対象】

2013年4月から2018年3月に当院で内視鏡治療や、外科手術後後の縫合不全・瘻孔に対してポリグリコール酸（PGA）シートを使用された方

【方法】

診療情報（電子カルテなど）より年齢や性別、病歴、内視鏡やレントゲン、転帰経過などを含め情報を調査し治療成績を検討します。

【お問い合わせなど】

本研究は、日常診療で得られた臨床データを収集し解析する研究であり、新たな検査や費用の負担が生じることはありません。研究で扱う情報は、匿名化を行い、学会や論文等で成果発表する場合も個人を特定出来る情報を明らかにすることはありません。ご希望があれば、支障がない範囲で研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

本研究に関する質問やご自身のデータを使わないでほしいと希望される方は、お手数ですが平日の9：00～16：00の間に下記までご連絡下さいようお願い申し上げます。

連絡先

研究責任者 国立病院機構京都医療センター
消化器内科 医長 滝本 見吾
電話：075-641-9161（代表）